

令和7年度 北海道檜山北高等学校キャリア教育全体計画

【校訓】 錬心大望（心身を鍛え人格の陶冶を目指し、大きな望みに向かって、ともに邁進しよう）

【学校教育目標】

- 1 知性と創造力を磨き、自ら実践する人間
2 人と地域を愛する、心豊かな人間
3 心身を鍛え、未来を拓く人間

【育成を目指す生徒像】（最上位目標）～地域に持続可能な社会を提案できる生徒～

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け価値を創造する
② 主体的に学び積極的に課題解決に取り組むことができる
③ 多様性を尊重し当事者意識を持って協働的に活動できる

【檜山北高校の3年間のキャリア教育において育成を目指す5つの資質・能力】

- (1)「課題解決能力」：社会生活等において、さまざまな課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力
(2)「協働力」：さまざまな考え方や価値観を受け入れ、周りの人と協力して物事を進めることができる力
(3)「自律力」：周りの状況等をふまえて、自身の感情や言動をコントロールすることができる力
(4)「論理的思考力」：網羅的に論点を整理し、筋道を立てて考えたり伝えたりすることができる力
(5)「創造力」：さまざまな知識・技能や考え方等を結びつけ、新たな視点や発想を持ち、新しい価値を生み出すことができる力

【キャリア教育における5つの資質・能力を身につけるための主な取り組み】

	産業社会と人間・総合的な探究の時間	各教科での授業・取り組み	学校での諸活動（HR活動、学校行事、部活動など）
課題解決能力	○自身の進路を、さまざまな情報や経験をもとに、適性を見極め、決定していく。 ○地域の課題を発見し、さまざまな調査や実験を行いながら解決していく。	○課題に対するさまざまなアプローチの方法を学び、最適解を模索する。 ○探究のプロセスを意識し、学習や実習に取り組むことで、多様な課題解決の方法を学ぶ。	○さまざまな場面で発見する課題に対し、どのようにアプローチしていくか考え、それを実践する。 ○諸活動の際には、最適解を模索し続け、より良い結果を求めていく。
協働力	○相談会や講話などで情報を得た際に、さまざまな考え方や価値観があることを知り、それを受け入れる。 ○グループ活動や地域との連携の中で、周囲の人と協力して物事を進めていく。	○目標達成に向けたペアやグループでの活動の中で、他者の考え方を尊重しながら合意形成を図る。 ○習得した知識や技能を日常や将来と関連づけながら、周囲と協力してさまざまな課題に対応する。	○HRや部活動を1つのチームとして捉え、一丸となって目標に向かっていく。 ○自分以外の他者の考えや価値観を受け入れ、周囲を慮る言動を心がける。
自律力	○他者の意見を参考にするなどして自分を客観視し、自己理解を深めていく。 ○現状を的確に捉え、目標達成のためにはどのような行動が必要なのか考えて実行する。	○集団での学習の場において、どのような言動が適切なのかを考えようとして、授業規律を守り、学習や実習をする。 ○予習や復習を始めとした学習習慣を確立し、自身の学力向上に努める。	○日常の学校生活の中で、自身の立ち位置を考えたり集団での行動に順応したりすることを通して、自己理解を進める。 ○適性検査や各種講話、日常の面談などを通して、自身の感情や言動をコントロールする。
論理的思考力	○収集したさまざまな情報を整理し、自身の進路について筋道を立てて考える。 ○解決すべき課題を、筋道を立てて考え、それを他者にわかりやすく表現し、伝える。	○各教科による特性をふまえた思考の方法を学び、それを用いてさまざまな課題に対して筋道を立てて考えていく。 ○考えたことを表現する方法を学び、それを用いて他者にわかりやすく効果的に伝えていく。	○集団での生活の中にあるさまざまな論点を整理しようとして、自分のこととして捉え、それについて筋道を立てて考える。 ○集団での生活や他者に対する自身の考えを、より効果的な形を考えて伝えていく。
創造力	○相談会や講話などで得た情報や考えたことや体験したことを結びつけながら、自身の進路をイメージする。 ○高校生としての視点を持ち、地域の課題に対して新たな価値を付与していく。	○授業や取り組みの中で習得した知識や技能を活用し、これまでとは違った視点や発想を持つ。 ○教科横断的な取り組みの中で、さまざまな知識や技能・考え方を結びつけ、他分野との連携を図っていく。	○さまざまな活動の中で、固定化された観念を批判的に捉え、新たな価値観を生み出していく。 ○高校生としての発想力や価値観をもとに、諸活動の充実を図る。

【キャリア教育において育成を目指す5つの資質・能力のルーブリック評価】

		A	B	C
課題解決能力	目指す姿	上手く行かないときでも、新たな課題を設定したり、別の解決方法を発見したりするなど、課題解決のための工夫ができる。また、最適解を導くために、情報を収集・整理し、その情報から何が言えるのか考察することができる。そこから新たな課題を発見することができる。	課題解決に向かって、自分ができることを判断し、計画的に実行することができる。また、目的に適した方法で情報を収集・整理し、その情報から何が言えるのか考察することができる。	課題をしっかり理解し、収集した情報から特徴を発見したり分類したりしたうえで、解決に必要なことを実行することができる。
協働力	目指す姿	多様な考え方や価値観を受け入れながら集団として協働することができる。その中で自らの役割を果たすだけでなく、提案したり意見を伝えたりするなどして、集団に貢献することができる。	多様な考え方や価値観の存在を理解しながら、集団の活動に積極的に参加する意思を持ち、自分の役割を果たしながら他者を支援することができる。	多様な考え方や価値観の存在を理解し、集団の一員として自らに与えられた役割を果たそうと努力することができる。
自律力	目指す姿	自分や自分の意見に対する他者からの指摘、批判を聞き入れることで、自身や自身の考え・行動の在り方を再検討し、反映させることができる。また、感情をコントロールして、自己や集団の目標の達成のために必要な行動を自ら考え、主体的に実行することができる。	自分や自分の意見に対する他者からの指摘、批判を聞き入れ、参考にしようとする。自身の特徴や適性を生活に活かすことができる。また、感情をコントロールして、自分や集団の目標の達成のために必要な行動をとることができる。	自分について考えたり振り返ったりすることで、自身を向上させたり、改善しようとしている。また、感情に流されず、自分や集団の目標の達成のために必要な行動をとることができる。
論理的思考力	目指す姿	全体の論点を整理し、自分の考えに根拠を持たせようとして、最適解を模索しながら筋道を立てることができる。また、自分の考えを、他者の知識や認知の状態を踏まえて、自らの表現方法を柔軟に工夫して伝えることができる。	全体の論点を整理し、それについて筋道を立てて考えることができる。また、自分の考えを、他者の知識や認知の状態をふまえて、自らの表現方法を工夫して伝えようとしている。	論点を整理し、それについて考えることができる。また、それに対する自分の考えを適切な表現などで伝えることができる。
創造力	目指す姿	学んだ知識・技能を既にある知識や体験と結びつけたり、必要に応じて整理したりして、新たな概念を形成できる。また、課題解決のため必要に応じて様々な見方・考え方を活用したりすることができる。	身につけた知識・技能を様々な場面で活用し、その有用性を実感する。見方・考え方を、他分野においても活用しようとしている。	身につけた知識・技能と、他分野との関わりを理解している。身に付けた見方・考え方を活用しようとしている。

【檜山北高校の3年間のキャリア教育イメージ図】

檜山北高校の3年間のキャリア教育

